

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームあすなろ 2	評価実施年月日	平成20年10月
評価実施構成員氏名	代表取締役 金子 敏幸 ・ 管理者 佐藤 恒子 ・ 介護支援専門員 西村 秀司 ・ 2階フロアースタッフ		
記録者氏名	佐藤 恒子	記録年月日	平成20年10月

北海道

☐ は外部評価項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅰ. 理念に基づく運営				
1. 理念の共有				
☐	○地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	職員全員が意見を出し作り上げている。		自分たちで考えたものなので今後も理念に添って介護するよう心掛ける
☐	○理念の共有と日々の取組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念はフロア一内に貼っており、実践に向けて日々努力している。		実践に向けて日々努力して行い。
☐	○家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	家族様には毎月発行している「あすなろ便り」には理念を掲載し、家族や掲示板に明示している。		家族や地域の人に理解して貰えるよう取り組んでいる。
2. 地域との支えあい				
☐	○隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	ホームに来所されたり、動物を見に来たときには挨拶をするよう心掛けている。		もっと付き合いを深めていけるよう努める。
☐	○地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	当ホームと町内会のお互いの行事がある時には案内や声掛けをして交流を深めている。		地域の町内清掃等に入居者と共に参加し交流を深めている。
☐	○事業者の力を活かした地域貢献 6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	「介護相談会」等を設け、少しでも役立てるよう取り組んでいる。		地域の方が気軽に相談できるような環境・信頼関係づくりに努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
○評価の意義の理解と活用 7 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	全体会議で評価の改善に対して話し合い取組んでいる。		良く話し合い改善に取り組んでいる。
○運営推進会議を活かした取り組み 8 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	隔月にて町内会、ご家族様に出席して頂き意見、要望など出し合いサービス向上に活かしている。		サービス向上の為に多くの意見を頂けるよう働き掛けて行きたい。
○市町村との連携 9 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	生活支援課担当者との意見交換を行なっている。不明な事がある時には、介護支援課に相談している。		今後とも一層関わりを深めて行く。
○権利擁護に関する制度の理解と活用 10 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	研修等に参加している。		必要な場合 活用し支援して行きたい。
○虐待の防止の徹底 11 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	「身体拘束委員会」があり、防止について話し合いしている。		委員会で話し合いをして防止に努めている。
4. 理念を実践するための体制			
○契約に関する説明と納得 12 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約に関する説明は十分納得して頂けるようにしている。		利用者や家族に十分に納得して頂けるように努める。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常の会話の中で不平、不満などは聞き入れ改善していくよう話し合いをしている。		日頃の生活の中で、気軽に意見などを言える関係づくりを心掛け改善に反映して行く。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	毎月「あすなろ便り」の中に暮らしの様子や写真、金銭管理の写しなどを送付し報告している。職員の異動等も掲載されている。心身の状況などは面会や電話等 会話で報告している。		定期的な便りや電話連絡も含め個々にあわせた報告をして行きたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情・相談等の窓口を設置している。		苦情・相談を気兼ねなく話せる雰囲気づくりに努めたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングや会議等で職員の意見・提案を聴き入れ反映されている。		職員からの意見を聴く場を多く持ち運営に反映させて行きたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	利用者の状況に合わせ勤務に支障がないよう調整に努めている。		今後とも状況に合わせて調整して行きたい。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	フロアー主任の意見も取り入れ利用者へのダメージを最小限に防ぐ配慮をしている。		利用者へのダメージを最小限に防げるよう支援して行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	2ヶ月に1回研修会を行なっている。外部研修は案内を出し参加を促している。	○	研修は有るが参加者が少ないので、積極的に参加するよう取組んで行きたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	小樽市連絡協議会を通じて研修会、勉強会等で交流を深めている。	○	もっと積極的に参加してサービスの質の向上に努めてほしい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	親睦会を行ったり、その都度職員の相談、アドバイスに取組んでいる。	○	気軽に相談出来るよう配慮しストレスの軽減に努めたい。
22	○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	個々の話に傾聴し、(各自の得意分野も含め)向上心をもって努めている。		個々と話す機会を少しでも多く持ち、向上心を持って働けるよう努める。
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	日常の会話の中で困っていることや不安、求めていること等を聞き入れ受け止める努力をしている。		ご本人の気持ちを受け入れ安心して頂けるよう努める。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	面会時に家族の意向、不安等を傾聴し、受け止める様努力している。		ご家族の気持ちを受け止める努力をして行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	家族と相談し、本人にとって必要な支援をしていく。		より良い支援をして行けるように努めたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	見守りなど、行動パターンを把握し、家族とも相談しながら支援している。		ご家族の方の協力も頂き、慣れ親しんでいけるよう努める。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	掃除や料理を一緒に行うことでアドバイスを頂いたり支え合う関係を築いている。		個々の能力・特技を考慮し、お互いに支え合う関係を築いて行きたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ホームでの生活の様子などを説明し共に利用者様を支えていく関係が築けるよう努めている。		今後ともご家族への状況報告を密にし、一緒にご本人を支えて行きたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	家族様よりこれまでの本人との関係を聞き入れ、維持するよう支援する。		今後とも支援していく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	知人、友人などが気軽に来訪出来るよう雰囲気作りに努めている。		知人や友人の方が気楽に来訪して行けるよう今後も支援して行く。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	毎日体操やゲームなどで利用者同士が関わり合えるよう努めている。 孤立しないよう他利用者に協力をお願いしたりしている。		他利用者に協力して頂いたりする事で孤立せず、支え合う関係が出来ている。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	身体機能の低下などにより退去された場合、移転先へ面会に行ったり、ご家族からの相談に応じている。		必要に応じて対応して行きたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションを通し、想いや希望の把握に努め、ご本人の住みやすい環境を作っている。		個人の意見や悩みなどの把握に努めている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活の中で趣味やその人らしい生き方を把握している。		生活のリズムを変えず毎日楽しく暮らして頂く。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日常生活でコミュニケーションを図ったりする事で現状を把握するよう努めている。		今後もコミュニケーションを多く図る事によって現状を把握して行きたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	家族の意向やモニタリングでの情報、意見、アイデアを反映して作成している。		モニタリング等を行ない意見・アイデアを介護計画に取り入れて行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	月に1回のモニタリングを通じ、課題を分析し介護支援専門員・フロアスタッフとの話し合いをしケアプラン作成、更新を行っている。		介護計画に沿った対応を行ない、現状の変化に伴い見直しを行なっている。
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別日誌を作成し情報の共有、計画の見直しに活かしている。		個別日誌に目を通す事によって日々の様子が把握され、介護計画の見直しにも活かされている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	隣接した小規模多機能やグループホームとの交流や、系列のディサービスも利用している。		合同での行事を行っていく。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	避難訓練や交通安全教室他の必要性がある物は取り入れているが多くはない。		歌のボランティアが定期的に来訪されている。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他のサービスは利用していないが、事業者他より情報提供をして頂いている。		必要に応じて支援して行く。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	ケアプランセンターを通し、小規模多機能・グループホームとの連携の中で長期的なケアマネジメントを目指している。		近隣の地域包括支援センターと協働し長期的なケアマネジメントに努めたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	かかりつけの病院があり、定期的に受診または往診し健康管理に努めている。		体調不良・異変があった時早急にかかりけ医に相談、受診や往診している。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	関係の病院に相談しながら認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。		受診の際 職員も同行し、医師に報告・相談している。
45	○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	職員として看護師を確保している。		異変が有った時 早急に看護師に相談し対応している。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	医療機関と連絡を密にし状態などを把握している。		職員が入院されている病院へ行き、状態・情報を把握している。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	日頃よりご家族には連絡を密にしており、かかりつけ医とも相談し場合によっては、ご家族も含め三者で話し合いをしている。		話し合いの場を多く持ち、全員で方針を共有して行く。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	かかりつけ医とも相談し職員が連携を図り、モニタリングを頻回に行い方針、介護方法を検討している。		看護師を中心に職員が連携し、かかりつけ医に相談しながら取組んでいきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49	○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	話し合いや情報交換を充分に行ないダメージがない様に努めている。		今後も話し合いや情報交換を充分行っていく。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	個人情報はきちんと管理されプライバシーは確保されている。	○	言葉遣いなど充分に気を付けて対応するよう心掛ける。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	ご本人の話を充分に聞き納得して頂くよう働き掛け、自己決定の支援をしている。		ご本人のわかる力に合わせて説明し自己決定していけるよう支援して行く。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人のペースや希望を重視して支援に努めている。		個々のペースに合わせて過ごして頂けるように努力している。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	本人の望む理・美容店へは行けるように努めている。		希望に対し充分に対応出来るように努力している。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	個々に合わせ調理や盛り付けをしている、準備や片付けも皆で協力して行っている。		食事状態に応じて目でも楽しめるよう創意工夫している。ご本人の力量に合わせた準備や片付けを行っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	決められた場所で好きな時にタバコを吸ったり、飲酒をして頂いている。		今後も本人の好む物を楽しめるように支援して行きたい。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の排泄パターン・習慣を理解し場合によっては誘導している。 医師に相談し薬の調整を行っている。		快適に排泄出来るように介助して行く。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	週2回、曜日は決めているが希望があればいつでも入れるようにしている。		希望やタイミングに合わせて入浴して頂けるよう努める。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	声掛けや自分の意思で休憩したり、夜間眠られない方には日中の活動量を増やすよう支援している。		状況に応じて対応している。夜間に寝れない時などには、心が和むように話なども聞くようにしている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	縫い物が得意の方には裁縫をして頂いたり、買い物やドライブ等楽しめるよう支援している。		個々の力を活かした役割や楽しみごと、気晴らしが出来るよう支援して行く。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	力量に応じご本人管理している。その他の方はホームにて預かっており必要であればその都度手渡しご本人で支払出来るよう支援している。		ご本人の力量に見極め今後も支援して行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	希望があれば外出できるよう支援している。		買い物等 希望に沿って支援している。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	利用者さんの健康、身体状況に応じての外出を支援している。		事前に計画を立て楽しめるような場所を探し支援している。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	手紙はご本人に希望によりいつでも支援している。電話については時間帯を考慮した上で支援している。		今後も支援して行きたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	再々訪問して頂けるように、明るく・気兼ねなく楽しい雰囲気づくりに努めている。		気軽に訪問出来るよう心掛け、居室やフロアでゆっくり過ごして頂けるよう努める。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会があり、マニュアル等の作成に取り組んでいる。		委員で各フロアへ見学に行ったりし、言葉の拘束がないか等取組んでいる。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	入居者の安全を重視し夜間のみ鍵を施錠している(17:30～10:00)	○	施錠時間を短縮して行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	見守りや同行を徹底し日常の生活形態を把握し安全に配慮している。		利用者の様子等を把握し安全に努めたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	危険物は利用者様の目に入らない場所又、使用の際は見守りを行っている。		危険物は目の届かず鍵のかかる場所に保管している。夜間帯は包丁も同様に保管を行なっている。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	緊急時、マニュアル等の把握と気配りを行なう。	○	ひとり一人の状態に応じて工夫しているが、転倒等がある。より一層の状態把握と目配りを行っていく。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	急変や事故発生時の対応等の訓練は行っているが不定期である。	○	全職員が慌てず落ち着いて行動できるように定期的に訓練を行っていく。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	定期的にホームにて火災訓練や消防本部主催の自衛消防訓練に参加している。		火災訓練や自衛消火訓練に参加している。
72	○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	体調の変化に伴い説明し理解していただいている..		ご本人やご家族の意向を大事にし希望にそった対応を心掛けている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	定時のバイタル測定や表情の変化に気配りし速やかに対応している。		医師とも連携を密にとり速やかに対応して行く。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	受診記録や投薬説明書など随時目の届く所に有り、職員同士確認しあっているが全て理解が出来ているとは言えない。	○	職員同士 口頭での伝達・確認を強化する。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	起床時に冷たい水・牛乳を飲んで頂いている。献立には繊維質の多い食材を使用する様心掛けている。食事時に話題に出し、気にするよう努めている。		献立に配慮し、排便のチェックを行ない、便秘時には医師の指示のもと対応している。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	食後の口腔ケアを徹底している。口腔内の状況を把握し医療との連携も取っている。	○	外部より講師を呼び勉強会を開き知識を高め、今後も継続して支援して行く。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分チェックをしている。個々の摂取状態に応じた食事内容にしている。栄養の摂れていないときは、医師の指示のもと経腸栄養剤などを摂取している。		個々の好みや体調に合わせて飲み物を勧めたり、食事に気を付けています。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルに沿った予防策が取られている。うがい・手洗い・通院時のマスク使用などを徹底している。		外部からの感染を極力防ぎ、フロア内では消毒など徹底して行く。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	台所の衛生管理を徹底し、オシボリ・フキンや調理器具の消毒を行なっている。定期的に冷蔵庫掃除を行い、食材の早期使い切りにも努めている。		今後も衛生管理を徹底し、食材に良く火を通すなどの工夫を行なうよう努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。 建物の廻りに柵がなく畑や小動物がおり近隣の人等が自由に出入りしている。		犬やウサギ・にわとり等がおり良く近所の子供達が無難に見学に来ている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 窓際には柵が有り利用者の花や小物を置かれたりしている。カレンダーや季節毎の飾りや植木で生活感・季節感を取り入れている。		今後も創意工夫して行きたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 フロアー出入り口に椅子があり思い思いに過ごせる場所がある。		椅子に座り談笑されています。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 自宅より使い慣れた家具、馴染みの物を持参して頂き居心地よく過ごせるように工夫をしている。		居室を自分の住処として認識している方が多いので、今後とも工夫して行きたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。 温・湿度計が設置されている。換気扇を廻したり、窓の開閉で調整している。汚物は新聞にくるみ防臭に努めている。		状態に合わせてこまめに行なうよう努める。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 引き戸扉や手すりなどはひとり一人の身体機能に配慮した場所に設置されているが、浴槽廻りには手すりがなく不安である。	○	身体機能にあった手すりがもっと必要である。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	声掛け、見守りにより混乱や失敗を防ぎ自立して暮らせるようにしている。		ひとり一人の力に応じて、自信を持って暮らせるよう支援して行きたい。
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	休憩所「東屋」を設けており、そこは団欒の場であり、日光浴やバーベキューなどを行い、地域とも交流ができるように活かしている。		タバコを吸ったり、ゆったりと時を過ごしている。他のフロアーの方々との交流を深める場にもなっている。

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい 本人の意向を尊重し、その人らしい暮らし方をして頂いている ③利用者の1／3くらい ④ほとんど掴んでいない ②
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある 毎食時やティータイムの時間に雑談をしている ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者 入居以前の生活のリズムや今の身体状況を考慮し実践している ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどいない ①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	①ほぼ全ての利用者 個人の興味のあること等をやってるときは生き々としている ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどいない ①
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者 近くのスーパー、季節ごとに(花見。水族館、紅葉狩りなど)ドライブを楽しんでいる ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどいない ②
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者 その都度管理者、スタッフとで検討し最善を尽くしているが、時には迅速ではないときもある ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどいない ①
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者 その時々状況や要望を考慮し不穏なく暮らせるよう家族にも協力を頂いている ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどいない ①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族 家族の話には良く傾聴し対応に対しても報告している ②家族の2／3くらい ③家族の1／3くらい ④ほとんどできていない ①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ④

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない 2ヶ月に1度運営推進会議は開催しているがつながりは ②
98	職員は、生き生きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2／3くらいが ③職員の1／3くらいが ④ほとんどいない 時と場合に寄るが自分を活かせる場面がある ②
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2／3くらいが ③利用者の1／3くらいが ④ほとんどいない 過剰にならないようにしている ②
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2／3くらいが ③家族等の1／3くらいが ④ほとんどいない 概ね満足していると思う ②

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

（日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載）

入居者の方と一緒に畑や動物などのふれあいを大事にし、毎日が充実した生活を送って頂きたい。